

3章+4章+5章通し券
合計5000円！
(住研会員、一般共)

バイオクリマティックデザイン五輪書

—東海地方の気候風土と建築を再考する—

<3章 空の巻>

豊かな日射量と伊吹おろしの影響を大きく受けてきた東海的生活と文化
気候とポテンシャルを活かした住空間の創造に向けて

大和田道雄：東海地方の気候特性、風が創ってきた風景とは
堀越哲美：(仮)自然の仕組みを取り入れた住空間のありかた

2019年4月20日(土) JIA愛知事務局にて

名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル5階

13:30~16:30

懇親会設定あり

駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。

<4章 木の巻>

天領・加子母^{かしも}における森林管理と^{くれいた}樽板屋根による明治座の復原

木の国における災害と歴史と防災の知恵

内木哲朗：江戸城、伊勢神宮に用いた桧の森の歴史
大窪健之：木の国における歴史に学ぶ減災の知恵

2019年5月11日(土) 虎溪山永保寺にて

10:30~ 永保寺 国宝開山堂観音堂見学

12:00~ お弁当昼食(1200円 予約制)

13:00~16:15 セミナー

岐阜県多治見市虎溪山町1丁目40

多治見駅(北口)から東鉄バス 小名田線「虎溪山」下車徒歩5分
無料駐車場有

<5章 人の巻>

建築の温熱環境は人をどう変えてきたのか、これからの環境づくりは
どうあるべきか

紫藤治：(仮)ヒトの体温調整機能のメカニズム、環境適応の力
中村勉：(仮)これからの環境デザインのあるべき姿

2019年6月15日(土) 14:00~17:15

TOTOテクニカルセンター名古屋にて

名古屋市中村区名駅3-28-12 大名古屋ビルヂング12F

※懇親会設定あります



※虎溪山永保寺：鎌倉後期の1313年創設。臨済宗南禅寺派の名刹。土岐川の渓流の景色が中国廬山の虎溪に似ていたことから虎溪山の山号となった。開祖、夢想国師がつくった庭は国名勝。1314年建立の観音堂、1352年建立の開山堂はともに国宝。2003年の火災で本堂、庫裡を失うが2011年に再建された。再建には加子母の桧が用いられている。

3章と4章、内容入れ替わりとなりました。
どうかご了承ください。